

すなや いしと なかよし

—「A表現(1)」—

～ 砂や太田川の石を使って、いろいろな活動を楽しもう～

広島市立東野小学校 加藤 恵子 児玉 敬子
中塚 美和 山手 雄一郎

- 1 日時・場所 平成24年11月22日(木) 9:55～10:55 造形砂場
- 2 学年・組 ひまわり学級 1組(知的学級) 第2学年2名 第3学年1名
第4学年2名 第5学年1名 第6学年1名
ひまわり学級 2組(自閉症・情緒学級) 第2学年1名 第3学年5名
第4学年1名
(男子 13名 女子 1名 計14名)

3 題材について

- 本学級の児童は、物づくりが好きで、造形活動を楽しみにしている児童が多い。しかし、一人一人実態が異なり、発想や構想についても、表現活動に楽しんで取り組むことができる児童とやりたいことがあってもどう表現していいかわからなくて取りかかることができない児童がいる。創造的な技能については、これまでに経験してきた表現方法や材料・用具の使い方には個人差があり、自信をもって取り組めない児童やいろいろなことを試してみようとしなない児童がいる。鑑賞に関しては、お互いの良さを認め合うことのできる児童もいる。一方で、いったんは作りだしたものの、友だちの作品を見て自信をなくし、自分のつくった作品を壊してしまう児童もいる。
- 本題材は、児童が造形砂場と出会い、砂を掘る、砂や地域を流れる太田川の石を並べるなど思い付いたことを試しながら、思いのままに造形的な活動に取り組む喜びを味わう題材である。手や体全体の感覚を働かせて砂や太田川の石の感触を十分に味わい、造形活動への思いをふくらませることができると考える。また、いろいろなことを試すことで、感覚や気持ちを生かしながら楽しく活動できると考える。さらに、そのプロセスを楽しむことができれば、表現することに自信がもてるようになるであろうと考え、本題材を設定した。造形砂場の広さと人数から、一人一人の児童全員が砂や太田川の石に触れることができ、自らが素材に働きかけることによっていろいろな活動を試すことができると考えている。さらに、自然に友だちとのかかわりがもてたらよいなと思っている。
- 指導に当たっては、題材を提案する際に生活単元学習の活動と結びつけて、表現活動に楽しんで取り組めるようにしたいと考えている。また、学区を流れる太田川の石を拾いに行くことで地域を身近に感じ、材料を大切に扱う気もちを育てていきたい。実際に自分たちが拾った太田川の石を使うことで発想や構想をもちやすいであろうと考える。創造的な技能については、活動中に友だちの試していることを意識できるように支援していきたい。手や体全体を使って、ダイナミックに砂を掘ったり、砂や石を並べたり、石を車など好きな物に見立てて遊んだりという活動を思う存分に楽しんでほしい。その際、水を使うことや友だちの用具の貸し借りも予想される。できるだけ、いろいろな活動を自ら働きかけて取り組めるよう、複数の教師で支援を行いたい。児童の要望に応えるかたちで用具や水を用意することで、自主的に活動する喜びを感じてほしい。作品ができ上がらなくてもよいことで、安心して様々な方法で砂や太田川の石を手や体全体で感じてほしいと考えている。

4 題材の目標

砂を掘る、砂や太田川の石を並べるなど思い付いたことを試しながら、自分なりに活動を楽しむ。

5 題材の評価規準

	ア造形への関心・意欲・態度	ウ創造的な技能
評価規準の題材	砂や太田川の石の感触を味わい、体全体で造形的な活動に取り組もうとしている。	思い付いたことを試しながら、砂を掘ったり、砂や太田川の石を並べたりして、材料や用具を用いて表している。

6 指導と評価

別紙参照

7 本時の目標

砂を掘る、砂や太田川の石を並べるなど思い付いたことを試しながら、自分なりに活動を楽しむ。

8 準備物（雨天の場合 テント設営）

（指導者） 大型シャベル、スコップ、バケツ、ざる、型抜き、たらい、ホース、太田川の石など
（児童） 長ズボン、長靴、上着など暖かい服装

9 本時の展開

学習活動	○教師の支援 ★努力を要する児童への支援	評価規準・評価方法
1 題材と出会う。	○ 造形砂場に集合し、試してみたいことへの思いをふくらませる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> めあて 砂や太田川の石を使って、いろいろなことを楽しもう。 </div>		
2 めあてや本時の活動内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 砂を掘ったり石を並べたりして、思い付いたことをいろいろ試してみることがめあてで、作品は出来上がらなくてもよいことを確認する。 ○ 用具の扱い方などを確認する。 ○ 友だちと用具の貸し借りをしてもよいことを伝える。 ★ 安全に活動ができるよう、実演を交えて説明をする。大まかな時間の流れを伝えておく。 	
3 思い付いたことや気がついたことを試しながら体全体で活動する。 <ul style="list-style-type: none"> ・掘ったり、並べたり、つないだりしながら思い付いたことを試す。 ・太田川の石を並べたり、好きな模様を表現したりする。 ・穴を掘ってつないでいく。 ・石を車などに見立てて遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ はじめに、友だちと力を合わせて活動することや、隣の人とつなげてよいことを伝える。 ○ 一人一人の実態に合わせた言葉かけをしていく。（別紙資料参照） ○ 水を使いたいと児童が希望した場合には、使えるように準備する。 ★ うまく掘ったり、並べたりすることが困難な児童には、教師がついて支援する。 ★ 自分の表現に自信のない児童には、自信をもって取り組んでいけるように、励ましや共感的な言葉かけをしていく。 	ア ＊活動の様子の観察 ＊活動記録（写真・ビデオ）
4 やって見たことや工夫したことを楽しく発表し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・試してみたことや工夫したものを楽しく発表し合いながら、材料の感じなどに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 砂や太田川の石を使って、どんなことをやってみたか、どんな気持ちか聞いたみる。 ○ 活動を通して楽しかったことや気付いたこと、工夫したことなどを発言するよう求める。 ★ 伝えたい気持ちが上手に言えないときには、補足する。 ★ 最後まで一生懸命に友だちの発表を聞くようにする。 	
5 後片付けを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 使った用具は元に戻してから、教室に戻るように伝える。 ○ 太田川の石の数を児童と共に確認して片付ける。 	